原田 悦子

(イコールの会)

小・中学校の統合計画はあるか

質 市内の高等学校の統合計画が進んでいるが、小・中学校の今年度の児童生徒数の状況と今後の学校統合の見通しは。

答 小学校においては、児童数が20人台の学校が4校となっており、朴瀬小学校と崇徳小学校が22人、竹生小学校と鶴形小学校が28人で、複式学級を2学級ずつ設置している。現在、学校統合の具体的な検討は行っていないが、児童数の推移等を勘案し、今後の学校統合の方向性について検討したい。

大型七夕、観光拠点施設

質 参考している青森県五所川原市の立佞武多の館とは、やり手の気質も含め、その比となるものではない。建設には賛否両論はつきものだが、今後どのように進めるのか。

答 施設整備基本計画策定のため、検討委員会を立ち上げ、基本計画たたき台を基に検討していただいており、この中で参考とするため、市民の皆様からも御意見を募集している。今後、基本計画案を作成した上でパブリックコメントを実施し、成案にしたいと考えており、計画策定段階から慎重に進めたいと考えている。

その他の質問事項

- 地方創生に係る交付金
- 陸上競技場、市民球場の駐車場
- 能代産業廃棄物処理センター

渡辺 優子

(平政・公明党)

乗り合いバスと駅の整備

質 地方創生の取り組みにあわせ、市の政策として駅の整備や地域の実情に応じた移動環境の整備が必要と考えられる。秋田空港からの乗り合いバスの運行や東能代駅整備の考えは。

答 より効率的で利便性の高い移動手段として、秋田空港と能代を直結する乗り合いバス路線の新設等が考えられるが、現時点では困難であると考えている。また、鉄道の玄関口である東能代駅は重要な役割を担うものと認識しており、事業実施主体となるJR側の意向等をお聞きしたいと考えている。

企業子宝率の活用

質 企業子宝率は、従業員が在職期間に何人の子宝に恵まれるかを推計する指標。市でもこれを活用し、子育てしやすい会社を発掘、支援し安心して子供を産み育てられる環境を整備すべき。

答 市では、子育てをしながら働きやすい環境整備のため、保育所の延長保育、休日保育、病児・病後児保育等の実施、留守家庭児童会の整備や利用時間の延長等を行っている。子供を産み育てやすい環境整備のため、今後、企業子宝率の活用については、調査、研究したいと考えている。

その他の質問事項

- コンビニ健診
- 投票率向上のための施策

安岡 明雄

(改革のしる)

民生委員児童委員活動の課題と市の対応

質 相談内容が複雑、多様化し解決困難な事例が発生するなど、負担が増大している。円滑かつ効果的に活動できるように、市もサポート体制を強化する必要があるのでないか。

答 民生委員の重要な活動の一つとして、安否や健康状態の確認等を行う見守り活動があるが、その中でも災害が発生した場合に支援を要する方については、市が社会福祉協議会へ委託して巡回相談を行っている。今後、負担軽減となる民生委員のサポート体制について、他市の事例も参考にしながら研究していく。

能代市総合戦略をどう策定するか

質 今後の能代市をどうしていくか。そのために何をしていくか。何が出来るか。住民も行政も自分事として考えること。住民の声を反映し地域に合った、納得できる戦略策定を。

答 住民や産官学金労言で構成する戦略会議を立ち上げ、これまで以上に広範な意見・知見を活用しながら、戦略を推進していきたい。また、戦略会議やパブリックコメント等の実施により、市民の声を反映した能代市総合戦略となるよう進めていきたいと考えている。

その他の質問事項

- 公共施設等総合管理計画
- データ収集を施設カルテの書式で
- 地方創生事業の重要業績評価指標